

プログラム

(主要プログラム)

年会長講演

会頭講演

特別講演

教育講演

日本医療薬学会賞受賞・学術賞受賞・奨励賞受賞講演

Postdoctoral Award 受賞講演

特別企画シンポジウム

International Symposium (国際シンポジウム)

委員会企画シンポジウム

シンポジウム

ワークショップ

市民公開講座

11月3日(金・祝)

第1会場(仙台国際センター 会議棟 2F 大ホール)

年会長講演

8:30 ~ 9:00

座長: 本間 真人(筑波大学医学医療系臨床薬剤学)

YPL 医療薬学のこの先12年へのメッセージ
三浦 昌朋
秋田大学大学院医学系研究科薬物動態学講座

特別企画シンポジウム

9:00 ~ 11:00

Precision dosingのための医療技術の開発拡充を目指して

オーガナイザー・座長: 福土 将秀(札幌医科大学附属病院薬剤部)、新岡 丈典(弘前大学医学部附属病院)

SP-1 LC-MS/MSを用いた血中薬物濃度のハイスループット定量法の開発と臨床実装
菊地 正史^{1,2}、眞野 成康^{1,2}
¹東北大学大学院薬学研究科、²東北大学病院薬剤部

SP-2 PGx解析に基づく個別化投与設計の開発と臨床実装
平 大樹、杉本 充弘、寺田 智祐
京都大学医学部附属病院薬剤部

SP-3 新規PK関連バイオマーカーの探索~CYP3AおよびOATP1Bに着目して~
炭本 隆宏
大分大学医学部附属病院薬剤部

SP-4 抗がん薬のPK規定因子を指標とした個別化投与の確立
今村 知世
昭和大学先端がん治療研究所

SP-5 抗体医薬品の個別化投与設計の開発
福土 将秀
札幌医科大学附属病院薬剤部

特別講演1

13:35 ~ 14:35

座長: 山本 康次郎(群馬大学医学部附属病院薬剤部)

SL1 大きく変貌する社会で活躍する薬剤師
大久保 正人
文部科学省高等教育局医学教育課

特別講演2

14:45 ~ 15:45

座長: 富岡 佳久(東北大学大学院薬学研究科がん化学療法薬学分野)

SL2 経口薬で白血病を治す-CMLに対する分子標的療法の挑戦
高橋 直人
秋田大学医学部血液腎臓膠原病内科

シンポジウム1

15:50 ~ 17:50

この先12年に向けた感染症領域に関わる薬剤師の方向性

オーガナイザー: 北原 隆志(山口大学医学部附属病院薬剤部)、村木 優一(京都薬科大学臨床薬剤疫学分野)
座長: 西村 信弘(国際医療福祉大学福岡薬学部・高木病院薬剤部)、島ノ江 千里(佐賀大学医学部附属病院)

3-1-S01-1 感染症領域におけるタスク・シフト/シェア ~この先12年にむけた臨床業務の方向性~
足立 参希¹、田中 鉄也¹、中野 祐樹²、小武 和正³、梅永 真弓¹
¹市立ひらかた病院薬剤部、²福岡県済生会二日市病院薬剤部、³岡山済生会総合病院薬剤部

3-1-S01-2 この先12年にむけた感染症領域における医療薬学研究的方向性
岡田 直人
山口大学医学部附属病院薬剤部

3-1-S01-3 この先12年に向けた感染症領域における専門薬剤師教育の方向性
田中 昌代
NTT東日本関東病院薬剤部

3-1-S01-4 この先12年にむけた感染症領域における卒前教育の方向性
村木 優一
京都薬科大学臨床薬剤疫学分野

11月3日 (金・祝)

第2会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 橘)

シンポジウム2

9:00 ~ 11:00

病院薬剤師、女性薬剤師の持続可能な働き方・研究活動とキャリアビジョン

オーガナイザー・座長：祝 千佳子 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学)、
河添 仁 (慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター医療薬学部門)

3-2-S02-1 大学病院薬剤師からアカデミアの世界へ！研究を極めて社会貢献したい

祝 千佳子
東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学

3-2-S02-2 人とのつながりの中で形成される私のキャリアパス：病院薬剤師から教員へ

鈴木 景子
岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座

3-2-S02-3 自分らしさを実現できるキャリアを歩むために

流石 学^{1,2}
¹株式会社メデュアクト、²東京薬科大学薬学部生化学教室

3-2-S02-4 個人も組織も持続可能な働き方にする職場の作り方

大西 友美子
株式会社ワーク・ライフバランス

3-2-S02-5 病院経営から見た医療従事者の課題と未来展望 (MBAホルダーとして)

大里 洋一
株式会社シーユーシー病院事業部

シンポジウム3

13:35 ~ 15:35

「外来腫瘍化学療法診療料に向けた曝露対策患者指導」への新たなエビデンス

オーガナイザー・座長：野村 久祥 (国立研究開発法人国立がん研究センター東病院薬剤部 / シーズ開発推進部)、
中山 季昭 (埼玉県立がんセンター)

3-2-S03-1 本シンポジウムの趣旨説明

野村 久祥^{1,2}
¹国立研究開発法人国立がん研究センター東病院薬剤部、
²国立研究開発法人国立がん研究センター東病院臨床研究支援部門シーズ開発推進部シーズ開発支援室

3-2-S03-2 外来化学療法室の薬剤師業務と曝露指導

橋口 宏司
横浜南共済病院薬剤科

3-2-S03-3 経口抗がん薬に対する職業性曝露対策と服薬指導の実践

小室 雅人
国立国際医療研究センター薬剤部

3-2-S03-4 造血幹細胞移植前処置において高用量シクロホスファミド療法を受けた患者の汗に含まれるシクロホスファミドの排泄期間について

谷川 大夢^{1,2}
¹東海大学医学部附属病院薬剤部、²昭和薬科大学薬学部薬学科

3-2-S03-5 抗がん薬二次曝露対策の説明に関わるリスクコミュニケーション

宮澤 真帆^{1,2}
¹東京都立多摩総合医療センター薬剤科、²昭和大学薬学研究科

3-2-S03-6 曝露対策のNext stage ~社会全体を巻き込む曝露対策~

中山 季昭
埼玉県立がんセンター

シンポジウム4

15:50 ~ 17:50

地域医療を支える医療薬学研究を基盤とした薬物療法の実践

オーガナイザー・座長：吉山 友二 (北里大学薬学部地域医療薬学)、高橋 寛 (岩手医科大学薬学部地域医療薬学分野)

3-2-S04-1 地域医療の実践と医療薬学

吉山 友二
北里大学薬学部地域医療薬学

3-2-S04-2 未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成

大久保 正人
文部科学省高等教育局医学教育課

3-2-S04-3 地域薬学ケアと医療薬学研究

山本 康次郎
群馬大学医学部附属病院

3-2-S04-4 地域医療における薬学管理の実践

山本 雄一郎^{1,2,3}
¹有限会社アップル薬局、²I&H株式会社、³熊本大学薬学部

3-2-S04-5 地域医療における医療薬学教育のあり方を考える—薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を控えて—

根岸 健一
北里大学薬学部薬学科

3-2-S04-6 地域医療に求められる健康サポート薬局の実践

高橋 寛
岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野

11月3日 (金・祝)

第3会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 萩)

シンポジウム5

9:00 ~ 11:00

医薬品情報室業務の今と新たな展開を考える～「DI 室が展開する連携」がもたらす意義～

オーガナイザー：若林 進 (杏林大学医学部附属病院薬剤部)、大幸 淳 (済生会横浜市東部病院薬剤部)
座長：若林 進 (杏林大学医学部附属病院薬剤部)、赤瀬 朋秀 (日本経済大学大学院経営学研究科)

3-3-S05-1 「DI 室が展開する連携」がもたらす意義

若林 進
杏林大学医学部附属病院薬剤部

3-3-S05-2 当院におけるDI 業務の現状とDI 連携

大竹 三保
帝京大学医学部附属病院薬剤部

3-3-S05-3 中小規模の病院から考えるDI 連携

大庭 理寛
JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院薬局

3-3-S05-4 医薬品情報室担当者が病棟担当者にできること

飯村 諒
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院薬剤部

3-3-S05-5 DI 担当者は孤独なのか。連携によるDI業務変革の可能性を考える

大幸 淳
済生会横浜市東部病院薬剤部

シンポジウム6

13:35 ~ 15:35

知って得する！医薬品情報を使いこなすための実践講座

オーガナイザー：後藤 伸之 (福井大学医学部附属病院薬剤部)、高橋 一栄 (大阪府済生会野江病院薬剤科)
座長：高橋 一栄 (大阪府済生会野江病院薬剤科)、大幸 淳 (済生会横浜市東部病院薬剤部)

3-3-S06-1 添付文書とインタビューフォームを用いて医薬品の基本情報を評価してみよう

金井 紀仁
医療法人社団武蔵野会新座病院薬剤科

3-3-S06-2 スペシャルポピュレーションに対する医薬品の情報を集めて評価してみよう ～妊婦・授乳婦を例に～

小原 拓^{1,2,3}
¹東北大学病院薬剤部、²東北大学大学院医学系研究科分子疫学分野、
³東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門

3-3-S06-3 未承認・適応外使用の医薬品に関する情報を集め科学的に評価してみよう

嶋田 江理嘉、富田 隆志
広島大学病院薬剤部

3-3-S06-4 医薬品リスク管理計画書を利用して安全性情報を評価し安全対策をしてみよう

林 昌洋
虎の門病院薬剤部

3-3-S06-5 医薬品に関するリアルワールドデータの情報を集め評価してみよう

永田 健一郎
九州大学病院薬剤部

シンポジウム7

15:50 ~ 17:50

データの二次利用を考える – そのためには –

オーガナイザー・座長：折井 孝男 (東京医療保健大学大学院)、
高田 敦史 (九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター)

3-3-S07-1 医療データの2次利用について

飯村 康夫
厚生労働省医政局研究開発政策課

3-3-S07-2 MID-NET®を通じたデータ二次利用に必要な標準化の取り組み

岸場 真理¹、大田 有佳里¹、村山 一茂²、宇山 佳明²
¹独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療情報活用部MID-NET 運営課、
²独立行政法人医薬品医療機器総合機構医療情報活用部

3-3-S07-3 公開データの二次利用から考える病院薬剤師の偏在一名寄せ(突合)の工夫を含めてー

外山 聡
新潟大学医歯学総合病院薬剤部

3-3-S07-4 電子処方箋情報はどこまで後利用できるのかー設定と運用から感じる課題ー

宮森 伸一、北本 真一
地方独立法人広島市立病院機構広島市立北部医療センター安佐市民病院薬剤部

3-3-S07-5 病院薬剤師部門の現状調査を通じて～事務局職員の視点から～

稲富 海帆
一般社団法人日本病院薬剤師会事務局総務課

11月3日 (金・祝)

第4会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 桜1)

シンポジウム8

9:00 ~ 11:00

最初が勝負！初回面談のすすめ～その道の達人は、こうして初回から介入する～

オーガナイザー・座長：守内 匡 (公立学校共済組合北陸中央病院)、寺沢 匡史 (社会医療法人愛仁会明石医療センター)

3-4-S08-1 最初が勝負！初回面談実施のメリット

守内 匡
公立学校共済組合北陸中央病院薬剤科

3-4-S08-2 周術期センターにおける薬剤師の入院支援と病棟薬剤師との情報連携

阿部 猛
聖路加国際病院薬剤部

3-4-S08-3 腎臓病薬物療法の専門家は初回、ここをチェック！

浦田 元樹
社会医療法人寿楽会大野記念病院薬剤部

3-4-S08-4 ポリファーマシー対策の専門家は初回、ここをチェック！

武藤 浩司
新潟市民病院薬剤部

3-4-S08-5 「伝わる」初回面談記録の書き方のコツ

寺沢 匡史
社会医療法人愛仁会明石医療センター薬剤科

シンポジウム9

13:35 ~ 15:35

医療薬学 × 臨床検査医学 臨床検査の有効活用が薬物治療を最適化する

オーガナイザー・座長：前川 正充 (東北大学病院薬剤部)、城野 博史 (熊本大学病院薬剤部)

3-4-S09-1 薬物投与量設計におけるCYP活性予測バイオマーカー測定の有用性の検証

公文代 将希、前川 正充、真野 成康
東北大学病院薬剤部

3-4-S09-2 炎症マーカーに基づく薬物投与設計

中川 潤一
弘前大学医学部附属病院薬剤部

- 3-4-S09-3 薬物療法の個別化と臨床検査
荒木 拓也
群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座
- 3-4-S09-4 Precision medicine実現へつなげるファーマコゲノミクス (PGx) 検査
磯野 哲一郎
滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部
- 3-4-S09-5 臨床検査値を参考にした抗菌薬治療の実践とピットフォール
尾田 一貴
熊本大学病院薬剤部

共催：一般社団法人日本臨床化学会

シンポジウム10

15:50 ~ 17:50

Complex case カンファレンス 一複雑な症例の薬物療法をプロフェッショナルな薬剤師と一緒に考えてみよう
オーガナイザー・座長：木村 丈司 (神戸大学医学部附属病院)、鈴木 大介 (JA 愛知厚生連江南厚生病院)

- 3-4-S10-1 がん×循環器疾患の薬物治療について考えてみよう
伊勢崎 竜也¹、木下 照常²
¹医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部、²医療法人豊田会刈谷豊田総合病院薬剤部
- 3-4-S10-2 急性腎障害と汎血球減少を合併した関節リウマチ患者の治療について考えてみよう
角田 隆紀¹、林 八恵子²
¹社会医療法人人生長会府中病院薬剤部、²近江八幡市立総合医療センター
- 3-4-S10-3 循環器疾患の解説
木下 照常
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院
- 3-4-S10-4 腎疾患の解説
林 八恵子
近江八幡市立総合医療センター薬剤部
- 3-4-S10-5 全体の質疑応答・ディスカッション
橋口 宏司
横浜南共済病院
- 3-4-S10-6 全体の質疑応答・ディスカッション
西海 一生
兵庫県立尼崎総合医療センター薬剤部

11月3日 (金・祝)

第5会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 桜2)

シンポジウム11

9:00 ~ 11:00

精神科領域のあらゆる場面における薬剤師の役割を考える

オーガナイザー：保田 和哉 (宮崎大学医学部附属病院)、加藤 剛 (医療法人社団幸悠会薬剤部)
座長：安原 真人 (帝京大学薬学部)、保田 和哉 (宮崎大学医学部附属病院)

- 3-5-S11-1 薬物血中濃度・薬物相互作用を基にした精神科治療薬の適正使用
福山 雄卯介
国立病院機構長崎医療センター薬剤部
- 3-5-S11-2 クロザピン開始初期の中止リスク要因解明 ～一病院薬剤師の取り組み～
築地 茉莉子
千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 3-5-S11-3 多職種で作る睡眠薬フォーミュラリ ～薬剤師が参画する意義～
水村 亮介
埼玉医科大学病院薬剤部
- 3-5-S11-4 四者 (医師会、薬剤師会、大学、行政) 連携による服薬適正化事業の成果
加藤 剛^{1,2,3}
¹一般社団法人所沢市薬剤師会、²所沢市健康増進連携推進協議会、³医療法人社団幸悠会薬剤部

3-5-S11-5 精神科領域のあらゆる場面における薬剤師のさらなる活躍への期待と今後の展望
土井 信幸
高崎健康福祉大学薬学部地域医療薬学研究室

共催：一般社団法人日本精神薬学会

シンポジウム12

13:35 ~ 15:35

薬剤師が挑むリハビリテーション薬剤

オーガナイザー・座長：小瀬 英司（順天堂大学医学部附属順天堂医院）、中村 直人（公立陶生病院医療技術局薬剤部）

- 3-5-S12-1 リハ薬剤の概念
中道 真理子
社会医療法人原土井病院
- 3-5-S12-2 明日から実践できるリハ薬剤のエビデンス
小瀬 英司
順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
- 3-5-S12-3 回復期病棟におけるリハ薬剤の取り組み
藤原 久登^{1,2}
¹昭和大学藤が丘病院薬剤部、²昭和大学薬学部病院薬剤学講座
- 3-5-S12-4 回復期病棟でのリハ薬剤の取り組み(薬剤師の立場から)
樋島 学
医療法人社団和光会総合川崎臨港病院薬剤部
- 3-5-S12-5 リハビリテーション薬剤における看護師の役割
永野 彩乃
西宮協立脳神経外科病院看護部

共催：一般社団法人日本リハビリテーション栄養学会

シンポジウム13

15:50 ~ 17:50

糖尿病とスティグマ ~あなたの言葉は正しく患者に伝わっていますか、真の薬物療法支援を実践するために~

オーガナイザー：大東 敏和（広島大学病院薬剤部）、本田 一春（公立昭和病院薬剤部）
座長：本田 一春（公立昭和病院薬剤部）、久保田 亜希（名古屋大学医学部附属病院薬剤部）

- 3-5-S13-1 Diabetesスティグマとアドボカシーとは
田中 永昭
国家公務員共済組合連合会枚方公済病院内分泌代謝内科
- 3-5-S13-2 患者さんにスティグマを与えないために~患者でもある私が医療従事者として意識していること~
住吉 加奈
サンポート高松クリニック
- 3-5-S13-3 糖尿病チーム薬剤師として最前線で携わり15年、患者指導ではなく「自分らしさ」を支援する重要性
大東 敏和
広島大学病院薬剤部
- 3-5-S13-4 日本くすりと糖尿病学会でのアドボカシー活動の紹介
朝倉 俊成
新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター

共催：一般社団法人日本くすりと糖尿病学会

11月3日（金・祝）

第6会場（仙台国際センター 会議棟 3F 白檀1）

シンポジウム14

9:00 ~ 11:00

大学教育でフォーミュラリーをどう教えるか？~フォーミュラリー教育の事例と工夫~

オーガナイザー：岩澤 真紀子（北里大学薬学部）、大津 史子（名城大学薬学部）
座長：大津 史子（名城大学薬学部）、金井 紀仁（医療法人社団武蔵野会新座病院）

- 3-6-S14-1 臨床準備教育におけるフォーミュラリー策定を志向した医薬品情報演習
上田 昌宏
摂南大学薬学部

11月3日
（金・祝）

11月4日
（土）

11月5日
（日）

一般演題
（口頭）

11月3日
（金・祝）

11月4日
（土）

11月5日
（日）

一般演題
（ポスター）

11月3日
（金・祝）

11月4日
（土）

11月5日
（日）

- 3-6-S14-2 北里大学病院実務実習におけるフォーミュラリー演習の取り組み
岩澤 真紀子
北里大学薬学部医薬品情報学
- 3-6-S14-3 病院におけるフォーミュラリー作成実習
上田 智弘
滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部
- 3-6-S14-4 大学教育におけるフォーミュラリー教育：どこまで大学で教えるべきか？
大津 史子
名城大学薬学部

シンポジウム15

13:35 ~ 15:35

授乳と薬

～専門・認定薬剤師でなくても伝えたい、授乳患者への服薬説明とスキル向上～

オーガナイザー・座長：笠原 英城 (日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部)、實川 東洋 (日本医科大学千葉北総病院)

- 3-6-S15-1 授乳と薬に関する多様な場面で、どの情報を使い、どこまで伝えることができるか
笠原 英城
日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
- 3-6-S15-2 脱・念のため授乳はやめましょう～自信を持って提案できるDI担当をめざして～
安島 秀友
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部
- 3-6-S15-3 精神神経用剤と授乳～不安感からくる自己中断をさせないため～
鈴木 秀明
刈谷豊田総合病院薬剤部
- 3-6-S15-4 片頭痛薬と授乳～頭痛を我慢しなければいけないのか～
上森 恵里
日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
- 3-6-S15-5 抗てんかん薬と授乳～発作をコントロールするための服薬説明～
松岡 順子
日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部

シンポジウム16

15:50 ~ 17:50

12年後を望む薬剤師教育論～新時代を「創る」と「贈る」を融合 (merge) する～

オーガナイザー・座長：柴田 啓智 (済生会熊本病院薬剤部)、
近藤 悠希 (熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学分野 (臨床薬理学))

- 3-6-S16-1 新時代における薬学生と薬学卒の教育論～臨床と学部教育を知る立場から～
今井 俊吾
慶應義塾大学薬学部
- 3-6-S16-2 私が若手でエビデンスを創出できた理由
國津 侑貴
滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部
- 3-6-S16-3 プレイヤーとマネージャーの架け橋～「育つ(創る)」と「育てる(贈る)」の共存～
小林 一男
公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部
- 3-6-S16-4 マネジメントも新時代～学びを若手に贈る業務体制の在り方～
北原 加奈之
医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部

11月3日 (金・祝)

第12会場 (仙台国際センター 展示棟 1F 会議室3)

International Symposium1

13:35 ~ 15:35

Messages for Pharmaceutical Health Care and Sciences in the Next Decade1

Organizers : Ikuko Yano (Department of Pharmacy, Kobe University Hospital, Japan) 、
Yasuo Takeda (Japanese Society of Hospital Pharmacists (JSHP) , Japan)

Chairs : Jung Tae Kim (President of KSHP, Kyung Hee University Hospital at Gangdong, Korea) 、
Yang Lin (Beijing Anzhen Hospital, Capital Medical University, China) 、
Yasuo Takeda (Japanese Society of Hospital Pharmacists (JSHP) , Japan)

- IS01-1 The development and practice of pharmacist-managed clinic in Chinese hospitals
Bo Zhang
Department of Pharmacy, Peking Union Medical College Hospital, Beijing, China
- IS01-2 Introduction of Certified Pharmacy Specialists in South Korea
Myung Sook Min
Department of Pharmacy, Samsung Medical Center, Korea
- IS01-3 Comparing the Effectiveness and Safety Profiles of Anticoagulants in Thai Patients with Cancer-Associated Thrombosis: Insights from a Real-World Study
Suphat Subongkot¹, Kirati Kengkla^{1,2}, Warunsuda Sripakdee³, Surakit Nathisuwan⁴, Pirun Saelue⁵, Aumkhae Sookprasert⁶
¹Division of Clinical Pharmacy, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Khon Kaen University, Khon Kaen, Thailand,
²Division of Pharmacy Practice, Department of Pharmaceutical Care, School of Pharmaceutical Sciences, University of Phayao, Phayao, Thailand,
³Department of Clinical Pharmacy, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Prince of Songkla University, Songkhla, Thailand,
⁴Clinical Pharmacy Division, Department of Pharmacy, Faculty of Pharmacy, Mahidol University, Bangkok, Thailand,
⁵Hematology Unit, Division of Internal Medicine, Faculty of Medicine, Prince of Songkla University, Songkhla, Thailand,
⁶Medical Oncology Unit, Department of Medicine, Faculty of Medicine, Khon Kaen University, Khon Kaen, Thailand
- IS01-4 The trajectory of hospital pharmacists and their expected future
Yasuo Takeda
Japanese Society of Hospital Pharmacists (JSHP) , Japan

International Symposium2

15:50 ~ 17:50

Messages for Pharmaceutical Health Care and Sciences in the Next Decade2

Organizers : Ikuko Yano (Department of Pharmacy, Kobe University Hospital, Japan) 、
Yasuo Takeda (Japanese Society of Hospital Pharmacists (JSHP) , Japan)

Chairs : Hisakazu Ohtani (Department of Clinical Pharmacy, Keio University School of Medicine, Japan) 、
Yuko Shimamoto (Department of Pharmacy, National Cerebral and Cardiovascular Center, Japan)

- IS02-1 Population pharmacokinetics of vancomycin for special populations
Yuko Shimamoto
Department of Pharmacy, National Cerebral and Cardiovascular Center, Japan
- IS02-2 Clinical application of steroid-sparing strategies in cancer patients receiving carboplatin-based chemotherapy
Toshinobu Hayashi
Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka University, Japan
- IS02-3 Leadership of Pharmacists in Cancer Chemotherapy
Hirotoshi Iihara
Department of Pharmacy, Gifu University Hospital, Japan
- IS02-4 Effects of proton pump inhibitor use on the risk of acute kidney injury
Shunsaku Nakagawa, Keiko Ikuta, Tomohiro Terada
Department of Clinical Pharmacology and Therapeutics, Kyoto University Hospital, Japan
- IS02-5 Critical Care Pharmacists in Japan
Mikihiro Maeda
Department of Pharmacy, St. Marianna University Hospital, Japan

主要プログラム

11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(口頭)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(ポスター)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)

11月3日 (金・祝)

第13会場 (仙台国際センター 展示棟 1F 会議室4)

シンポジウム17

9:00 ~ 11:00

副作用自発報告データベース (JADER) での研究をはじめよう～落とし穴には気を付けて！～

オーガナイザー：土屋 雅美 (宮城県立がんセンター薬剤部)、小原 拓 (東北大学病院薬剤部)
 座長：舟越 亮寛 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤管理部)、小原 拓 (東北大学病院薬剤部)

- 3-13-S17-1 JADERを用いた研究におけるチェックリストと研究遂行上の留意点
 酒井 隆全
 名城大学薬学部医薬品情報学研究室
- 3-13-S17-2 医療現場で行うJADERを用いた研究とそのピットフォール
 岡田 直人
 山口大学医学部附属病院薬剤部
- 3-13-S17-3 副作用報告データを用いた臨床研究の実施とそのピットフォール(ワクチンに関する研究より)
 宮崎 真
 MSD株式会社グローバル研究開発本部ファーマコビジランス
- 3-13-S17-4 JADERに含まれる報告の質評価と質向上への取り組み
 土屋 雅美
 宮城県立がんセンター薬剤部

共催：AMED 委託研究 医薬品等規制調和・評価研究事業「医薬品副作用に関する医療機関報告の質の向上推進に関する研究」

シンポジウム18

13:35 ~ 15:35

被験者の安全性を確保した治験薬投与を目指すための薬剤師の役割～最新の動向や法規制を踏まえて～

オーガナイザー：鶴丸 雅子 (長崎大学病院臨床研究センター / 薬剤部)、近藤 直樹 (国立病院機構東京病院)
 座長：鶴丸 雅子 (長崎大学病院臨床研究センター / 薬剤部)、
 黒田 智 (岡山大学病院薬剤部 / 新医療研究開発センター)

- 3-13-S18-1 品質を確保した治験使用薬の管理の実際
 老本 名津子
 京都大学医学部附属病院先端医療研究開発機構臨床研究支援部
- 3-13-S18-2 非盲検薬剤師の役割と実際
 森山 菜緒
 帝京大学医学部附属病院臨床試験・治験統括センター
- 3-13-S18-3 治験使用薬の適切な取り扱いに向けた日本製薬工業協会の取り組み
 實 雅昭^{1,2}
¹日本製薬工業協会医薬品評価委員会臨床評価部会、²バイエル薬品株式会社研究開発本部
- 3-13-S18-4 DCTの現状と課題、ガイダンスの策定に向けた取組や治験薬に係わる規制の動きについて
 福田 祐介
 厚生労働省医薬局医薬品審査管理課
- 3-13-S18-5 分散化臨床試験の動向や治験薬関係の法規制を踏まえた治験薬管理者の新たな役割
 近藤 直樹
 国立病院機構東京病院薬剤部

シンポジウム19

15:50 ~ 17:50

臨床薬理学の知識を活用して医薬品適正使用に貢献しよう ～エビデンスと三種の神器～

オーガナイザー：岩本 卓也 (三重大学医学部附属病院)、本間 真人 (筑波大学附属病院)
 座長：平井 利典 (三重大学医学部附属病院薬剤部)、上田 昌宏 (摂南大学薬学部薬学教育学研究室)

- 3-13-S19-1 標準治療を支えるエビデンスの精査と個別最適化に向けた活用
 上田 昌宏
 摂南大学薬学部
- 3-13-S19-2 遊離形血中濃度の解釈によるTDM
 花田 和彦
 明治薬科大学薬学部

主要プログラム

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

一般演題 (口頭)

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

一般演題 (ポスター)

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

- 3-13-S19-3 遺伝子多型評価のピットフォールと解釈
鈴木 嘉治
筑波大学附属病院薬剤部
- 3-13-S19-4 薬物相互作用の定量的評価・ピットフォール
平井 利典
三重大学医学部附属病院薬剤部

11月3日 (金・祝)

第14会場 (東北大学百周年記念会館 2F 萩ホール)

シンポジウム20

9:00 ~ 11:00

いま、あらためて薬物相互作用マネジメントを議論しよう～手引き・症例検討・展望～

オーガナイザー・座長：米澤 淳 (慶應義塾大学)、大野 能之 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

- 3-14-S20-1 趣旨説明と手引きの概説
米澤 淳^{1,2}
¹慶應義塾大学薬学部、²医療薬学学術第四小委員会
- 3-14-S20-2 症例検討会 (DDIの評価とマネジメント) 1 -COVID-19治療薬の薬物相互作用
木村 丈司
神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 3-14-S20-3 症例検討会 (DDIの評価とマネジメント) 2 ～抗HIV療法に伴う薬物相互作用～
増田 純一
国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 3-14-S20-4 症例検討会 (DDIの評価とマネジメント) 3 ～化学療法に伴う薬物相互作用～
大野 能之
東京大学医学部附属病院薬剤部
- 3-14-S20-5 薬物相互作用マネジメントの限界と展望
樋坂 章博
千葉大学大学院薬学研究院

シンポジウム21

13:35 ~ 15:35

錠剤粉砕を再考する

オーガナイザー・座長：倉田 なおみ (昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部部門/臨床薬学講座臨床栄養代謝学部部門)、
鈴木 慶介 (公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院・老人保健施設千束)

- 3-14-S21-1 錠剤粉砕を再考する
倉田 なおみ
昭和大学薬学部社会健康薬学講座社会薬学部部門/臨床薬学講座臨床栄養代謝学部部門
- 3-14-S21-2 錠剤の製剤設計と粉砕の影響
原田 努^{1,2}
¹昭和大学薬学部基礎医療薬学講座薬剤学部部門、²昭和大学臨床薬理研究所
- 3-14-S21-3 口腔ケアで気づく薬の問題点と口腔機能観察のポイント
石井 良昌
海老名総合病院歯科口腔外科
- 3-14-S21-4 小児に対する錠剤粉砕の現状
石川 洋一
明治薬科大学
- 3-14-S21-5 「モノからヒトへ」病院併設型介護老人保健施設における錠剤粉砕問題への挑戦
鈴木 慶介¹、山崎 真里¹、小林 絃子¹、鶴崎 亮太¹、齋藤 千夏¹、中野 博美²、齋藤 真美²、高橋 泰知³、
高梨 友花³、片見 厚夫⁴
¹公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院・老人保健施設千束薬剤室、
²公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院・老人保健施設千束看護部、
³公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院・老人保健施設千束事務部、
⁴公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院・老人保健施設千束診療部

11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(口頭)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(ポスター)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)

シンポジウム22

15:50 ~ 17:50

CKD診療ガイドライン2023から学ぶ腎臓病薬物療法

オーガナイザー：竹内 裕紀 (東京医科大学病院薬剤部)、古久保 拓 (医療法人仁真会白鷺病院薬剤科)
 座長：竹内 裕紀 (東京医科大学病院薬剤部)、浦田 元樹 (社会医療法人寿薬会大野記念病院薬剤部)

3-14-S22-1 腎機能別薬物投与量設定に用いる腎機能推算式の考え方

竹内 裕紀
 東京医科大学病院薬剤部

3-14-S22-2 抗ヘルペスウイルス治療薬のUp to date

水野 智博^{1,2}
¹藤田医科大学医学部薬物治療情報学、²藤田医科大学病院薬剤部

3-14-S22-3 疼痛のある高齢者・CKD患者への鎮痛薬選択

平田 純生
 I&H株式会社学術研修部

3-14-S22-4 CKD患者のシックデイの概念を用いた指導と薬薬連携

田中 章郎¹、太田 達也¹、伊藤 さおり¹、鰐田 芽未¹、金子 智慈¹、野澤 文香¹、高村 京香¹、濱田 真里亜¹、
 平澤 菜々子²、等 浩太郎³
¹社会医療法人宏潤会大同病院薬剤部、²クオール薬局大同店、³金城学院大学薬学部

3-14-S22-5 SGLT2阻害薬による慢性腎臓病の進展抑制

浦田 元樹
 社会医療法人寿薬会大野記念病院薬剤部

共催：一般社団法人日本腎臓病薬物療法学会

11月3日 (金・祝)

第15会場 (東北大学百周年記念会館 2F 会議室)

シンポジウム23

9:00 ~ 11:00

これから臨床研究で薬剤師が活躍するために～職能拡大・エビデンス創出を目指して～

オーガナイザー：萩原 宏美 (三重大学医学部附属病院)、石澤 啓介 (徳島大学病院総合臨床研究センター)
 座長：鈴木 昭夫 (岐阜大学医学部附属病院)、萩原 宏美 (三重大学医学部附属病院)

3-15-S23-1 医薬品開発における薬剤師の貢献のあり方～CRCの視点から～

山本 明子
 北里大学病院臨床試験センター／薬剤部

3-15-S23-2 薬剤師が臨床研究を進める上で必須となる倫理知識～倫理審査はなぜ必要か～

内倉 健
 昭和大学薬学部病院薬剤講座

3-15-S23-3 病院薬剤師が臨床試験に携わることによる効果と展望

野中 祐二郎
 岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター治験管理部門

3-15-S23-4 臨床試験の経験を疾患領域の専門性強化に活かす：プロトコルをどう読み解くか

萩原 宏美
 三重大学医学部附属病院

3-15-S23-5 社会実装を目指した臨床研究とは

八木 健太^{1,2}、新村 貴博^{1,2}、坂口 暁¹、石澤 啓介^{1,2,3}
¹徳島大学病院総合臨床研究センター、²徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野、³徳島大学病院薬剤部

シンポジウム24

13:35 ~ 15:35

薬物動態の“モデリング&シミュレーション”の活用 -現状と未来-

オーガナイザー・座長：工藤 敏之 (武蔵野大学薬学部)、
 佐藤 正延 (日本ベーリンガーインゲルハイム薬物動態安全性研究部)

3-15-S24-1 薬物吸収動態シミュレーションがもたらす経口特殊製剤の適正使用：投与製剤で変わるCYP3A/P-gpの影響

白坂 善之
 金沢大学医薬保健研究域薬学系

3-15-S24-2 小児臨床現場におけるM&Sの活用と展望

齊藤 順平
 国立成育医療研究センター薬剤部

主要プログラム

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

一般演題 (口頭)

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

一般演題 (ポスター)

11月3日 (金・祝)

11月4日 (土)

11月5日 (日)

3-15-S24-3 M&Sに基づく添付文書への情報提供ーその用法用量、こうして設定していますー
吉次 広如
MSD 株式会社クリニカルリサーチ臨床薬理開発

3-15-S24-4 モデリング&シミュレーションに人工知能 (AI) 技術を応用する新しい挑戦
辻 泰弘¹、関 弘翔²
¹日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室、²日本大学理工学部応用情報工学科

共催：公益財団法人日本薬剤学会 薬物相互作用・個別化医療フォーカスグループ

シンポジウム25

15:50 ~ 17:50

薬物療法における性差の課題について考えてみませんか？～基礎と臨床からのアプローチ～

オーガナイザー：櫻下 弘志 (広島大学病院薬剤部)、高井 靖 (三重ハートセンター薬局)
座長：松尾 裕彰 (広島大学病院薬剤部)、熊井 正貴 (北海道大学病院薬剤部)

3-15-S25-1 基礎薬学研究における性差の観点
黒川 洵子
静岡県立大学薬学部生体情報分子解析学分野

3-15-S25-2 腎機能評価における性差
加藤 隆児
大阪医科薬科大学薬学部

3-15-S25-3 がん領域の薬物療法と性差
櫻下 弘志
広島大学病院薬剤部

3-15-S25-4 循環器領域の薬物療法と性差
高井 靖
三重ハートセンター薬局

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(口頭)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(ポスター)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

11月4日(土)

第1会場(仙台国際センター 会議棟 2F 大ホール)

会頭講演

9:40 ~ 10:10

座長: 奥田 真弘(大阪大学医学部附属病院薬剤部)

PL 日本医療薬学会の活動と今後の課題
山本 康次郎
一般社団法人日本医療薬学会

特別講演3

10:15 ~ 11:15

座長: 山口 浩明(山形大学医学部附属病院薬剤部)

SL3 トランスポーター介在性薬物相互作用の定量的予測と臨床研究
楠原 洋之
東京大学大学院薬学系研究科

特別講演4

13:35 ~ 14:35

座長: 岡田 浩司(東北医科薬科大学病院薬剤部)

SL4 精神科領域の個別化医療
古郡 規雄
獨協医科大学精神神経医学講座

教育講演

14:45 ~ 15:45

座長: 本間 真人(筑波大学医学医療系臨床薬剤学)

EL がんサポーターケアにおける医療用漢方製剤の役割とエビデンス
元雄 良治
福井県済生会病院内科

がん専門薬剤師認定委員会企画シンポジウム

15:50 ~ 17:50

がん専門薬剤師の薬学的介入のポイント ~臨床・画像検査の有効活用と患者の訴えから一歩踏み込んだ提案~

オーガナイザー・座長: 池田 龍二(宮崎大学医学部附属病院薬剤部)、河原 昌美(愛知学院大学薬学部臨床薬学講座)

CP1-1 趣旨説明と2022年度の認定状況

池田 龍二
宮崎大学医学部附属病院薬剤部

CP1-2 伝わる書き方と注意すべき点

佐野 元彦
星薬科大学実務教育研究部門

CP1-3 乳がん ~心機能評価の提案と偶発的な薬物相互作用を回避した症例~

近森 綾子
九州大学病院薬剤部

CP1-4 胃がん ~がん種の特性を考慮したアプローチ~

堀川 美帆
東北大学病院薬剤部

CP1-5 大腸がん ~スペシャルポピュレーションへの対応~

松谷 直樹
深谷赤十字病院薬剤部

CP1-6 肺がん ~薬剤性QT延長への対応~

平塚 公己
北里大学病院薬剤部

CP1-7 多様化するがん薬物療法への専門薬学師としてのアプローチ

河原 昌美
愛知学院大学薬学部

主要プログラム

11月3日(金・祝)

11月4日(土)

11月5日(日)

一般演題(口頭)

11月3日(金・祝)

11月4日(土)

11月5日(日)

一般演題(ポスター)

11月3日(金・祝)

11月4日(土)

11月5日(日)

11月4日 (土)

第2会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 橋)

シンポジウム26

9:00 ~ 11:00

抗がん剤調製ロボットはここまで来たーロボットの潮流と薬剤師業務に与えるインパクトー

オーガナイザー・座長：近藤 勝弘 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター)、日比 陽子 (名古屋市立大学病院)

4-2-S26-1 製造・供給の視点からーケモロー
ロボット調製のこれまでと現状とこの先
家田 啓史
株式会社ユヤマ商品企画部

4-2-S26-2 製造・供給の視点からーロッチオーニ/アポテカ
抗がん剤自動調製化の経緯と、今後について
樋口 耕平、ベレーニ フェデリコー
ロッチオーニ・ジャパン (株)

4-2-S26-3 医療現場の視点からーダーウィンケモー
抗がん剤調製ロボット (DARWIN-Chemo) がもたらす薬剤師業務への効果と更なる期待
楠原 隆志
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院化学療法センター

4-2-S26-4 医療現場の視点からーアポテカー
…横浜市立大学附属市民総合医療センターにおける抗がん剤調製支援装置稼働の現状と課題…
栗島 直希
横浜市立大学附属市民総合医療センター薬剤部

4-2-S26-5 医療現場の視点からーケモロー
当院における2機種のロボットの使用実績と将来の展望
外海 友規
名古屋市立大学病院薬剤部

シンポジウム27

13:35 ~ 15:35

患者さんに成果を示すがん薬剤師外来ー服薬指導だけではないファーマシューティカルケアの実践ー

オーガナイザー・座長：川上 和宜 (公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部)、原田 知彦 (神奈川県立足柄上病院薬剤科)

4-2-S27-1 患者さんに成果を示すがん薬剤師外来ー服薬指導だけではないファーマシューティカルケアの実践ー
川上 和宜
公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部

4-2-S27-2 経口抗がん剤対象薬剤師外来に有用性はあるかー残薬確認の意義と副作用による治療中止症例の解析からー
郷 真貴子
大垣市民病院薬剤部

4-2-S27-3 治療強度を担保した術後補助療法を提供する薬剤師外来の関わり
奥田 泰考
自治医科大学附属病院薬剤部

4-2-S27-4 薬剤師による処方提案が治療継続にもたらす効果ー治療強度から副作用マネジメントー
中村 匡志
公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部

4-2-S27-5 薬剤師が支持療法に与える新たな価値ーQOLの網羅的定量評価ー
藤井 宏典
岐阜大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム28

15:50 ~ 17:50

12年先を見据えた一歩進んだがん薬物療法の副作用マネジメントー副作用の早期対応を目的としたIoTの活用ー

オーガナイザー・座長：高山 慎司 (聖路加国際病院)、横川 貴志 (公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部)

4-2-S28-1 Oncology Emergency を防げ！ー網羅的検査値抽出アプリケーションを活用した安全管理支援体制の構築ー
橋本 幸輝
公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部

4-2-S28-2 アプリケーション導入と改良を経験してー理想と現実と立ちちはだかる壁ー
藤堂 真紀
埼玉医科大学国際医療センター薬剤部

- 4-2-S28-3 電子カルテと保険薬局をつなぐ電子患者日誌の開発～これからのITツール「薬の安全まもるくん」とは～
香取 哲哉¹、小茂田 昌代¹、河本 怜史¹、木村 敦¹、石崎 知里²、遠藤 直樹³、浅野 俊彦⁴、佐藤 大輔⁴、
山田 琴美⁴、野村 浩子⁵、石川 大介⁶、真辺 篤⁶、藤村 義明⁶、出雲 貴文¹、柿本 應貴⁷、岡元 るみ子⁸、高橋 智⁵
¹千葉西総合病院薬剤部、²アイン薬局千葉西店、³ファーコス薬局しいの木西、⁴株式会社ソフィア、⁵一般社団法人徳洲会、
⁶徳洲会インフォメーションシステム株式会社 (TIS)、⁷千葉西総合病院乳腺外科、⁸千葉西総合病院腫瘍内科
- 4-2-S28-4 オンライン服薬指導が副作用マネジメントにもたらすものとは？～保険薬局におけるフォローアップ事例を踏まえて～
木村 大地、山崎 綾香、鎌谷 崇弘
日本調剤株式会社日本調剤ポータルアイランド薬局
- 4-2-S28-5 乳がんホルモン治療における患者参加型医療連携サポートシステムの開発～医療連携手帳とお薬手帳の融合と活用～
高山 慎司¹、田中 裕子²、笠原 里紗³、土田 寧恵⁵、尹 尹玲花⁴、山内 英子³、中村 清吾^{3,5}、後藤 一美¹、
林 直輝^{3,5}
¹聖路加国際病院薬剤部、²聖路加国際病院看護部、³聖路加国際病院乳腺外科、⁴mammaira tsukiji、⁵昭和大学病院乳腺外科

11月4日 (土)

第3会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 萩)

シンポジウム29

9:00 ~ 11:00

近未来の薬剤耐性菌対策に向けた若手薬剤師による感染症領域のエビデンス創出

オーガナイザー・座長：榎 秀樹 (東京ベイ・浦安市川医療センター)、山田 智之 (大阪医科大学病院薬剤部)

- 4-3-S29-1 救急・ICU領域におけるバンコマイシンの投与設計について
石郷 友之
札幌医科大学附属病院薬剤部
- 4-3-S29-2 中規模病院と大学との連携による抗菌薬適正使用に向けたエビデンスの創出
並木 孝哉^{1,2}、榎 秀樹¹、織田 鎌太郎³、横山 雄太^{2,4}、中村 智徳^{2,4}
¹東京ベイ・浦安市川医療センター薬剤室、²慶應義塾大学大学院薬学研究所医療薬学部門、
³多摩総合医療センター東京都立病院機構感染症内科、⁴慶應義塾大学薬学部医療薬学・社会連携センター医療薬学部門
- 4-3-S29-3 院内感染防止対策におけるエビデンス創出
中出 順也^{1,2}
¹金沢大学附属病院薬剤部、²金沢大学附属病院感染制御部
- 4-3-S29-4 肺移植における感染症対策のエビデンス創出
片田 佳希
京都大学医学部附属病院薬剤部
- 4-3-S29-5 機械学習を活用したテイコプラニン24時間負荷投与法に関する研究
近藤 昭志^{1,2}、尾田 一貴¹、金子 哲也¹、城野 博史^{1,2}、齋藤 秀之^{1,2}
¹熊本大学病院薬剤部、²熊本大学大学院薬学教育部臨床薬物動態学分野

シンポジウム30

13:35 ~ 15:35

タスク・シフト/シェア時代の薬剤師は「キャリアパス」「キャリアアップ」で素敵な未来をつくれるか

オーガナイザー：岸本 真 (霧島市立医師会医療センター薬剤部)、小枝 伸行 (八尾市立病院)
座長：荒川 隆之 (長久堂野村病院)、小枝 伸行 (八尾市立病院)

- 4-3-S30-1 薬剤師におけるキャリアパス・キャリアアップとは
眞野 成康
東北大学病院薬剤部
- 4-3-S30-2 地域から学んだ最初の1歩「紡ぐこと」は「紡がれること」～しなやかに生きる女性のキャリアパス形成へのヒント～
小原 道子^{1,2}
¹帝京平成大学薬学部薬学科、²岐阜薬科大学地域医療薬学寄付講座
- 4-3-S30-3 素敵な未来をつくる病院薬剤師を目指して
渡邊 学^{1,2}
¹社会医療法人駿甲会法人本部医療技術部、²社会医療法人駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院医療技術部
- 4-3-S30-4 病院薬剤師のキャリアパス ～マネジメント職への可能性～
荒木 隆一
市立敦賀病院医療情報センター
- 4-3-S30-5 薬剤師から他職種へのタスク・シフト/シェアのマネジメントとキャリアパス・キャリアアップ
岸本 真^{1,2}
¹霧島市立医師会医療センター薬剤部、²九州保健福祉大学薬学部薬学科臨床薬学第一講座

シンポジウム31

15:50 ~ 17:50

薬剤師のタスクシフトと病棟薬剤業務のバランス～病院薬剤師業務のこれから～

オーガナイザー・座長：守内 匡 (公立学校共済組合北陸中央病院)、
河井 良智 (独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院)

- 4-3-S31-1 病棟業務を取り巻く環境と病棟業務のこれから
守内 匡
公立学校共済組合北陸中央病院薬剤科
- 4-3-S31-2 「薬剤師業務のタスク・シフト」の実践
満田 正樹
独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院薬剤部
- 4-3-S31-3 両立させたい！病棟薬剤業務と薬剤管理指導
寺沢 匡史
社会医療法人愛仁会明石医療センター薬剤科
- 4-3-S31-4 病棟薬剤業務実施加算2を算定するためのマネジメントとタスクシフト
木村 真策
社会医療法人愛仁会高槻病院
- 4-3-S31-5 病院経営の視点から求めるこれからの病棟薬剤師
石井 富美^{1,2}
¹多摩大学大学院経営情報学研究科、²ヘルスケアビジネス経営人材育成研究所

11月4日 (土)

第4会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 桜1)

シンポジウム32

9:00 ~ 11:00

[小児・新生児] × [集中治療] への薬剤師の関わり ～未来ある子どもたちを救うために何ができるか～

オーガナイザー：内田 淳 (山梨大学医学部附属病院薬剤部)、冨家 俊弥 (社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院薬剤科)
座長：山谷 明正 (明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門小児周産期薬学研究室)、
冨家 俊弥 (社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院薬剤科)

- 4-4-S32-1 NICUにおける薬剤師の関わり ～新生児の薬物療法をどう評価するか～
清水 啓道
東京大学医学部附属病院薬剤部
- 4-4-S32-2 小児集中治療室における薬剤師の役割
～未来ある子どもたちを救うためにできること～
小川 隆弘¹、尾島 勝也^{1,2}
¹北里大学病院薬剤部、²北里大学薬学部
- 4-4-S32-3 小児と成人が混在する ICU での小児集中治療に対する薬剤師の関わり
～安全な小児集中治療の提供および小児急変時対応への参画～
内田 淳
山梨大学医学部附属病院薬剤部
- 4-4-S32-4 小児・新生児集中治療領域における TDM
齊藤 順平
国立成育医療研究センター薬剤部
- 4-4-S32-5 小児循環器専門施設において医師と薬剤師の関わりに求められるもの
藤井 隆成
昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター

シンポジウム33

13:35 ~ 15:35

多職種チームで取り組んだポリファーマシー解決への取り組みと今後の課題

オーガナイザー・座長：尾上 雅英 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)、古俵 孝明 (彦根市立病院薬剤部)

- 4-4-S33-1 地域一体となったポリファーマシーへの対応 医師の立場から
富田 尚希^{1,2}、村中 美千帆^{1,2}、高野 由美^{1,2}、館脇 康子^{1,2}、中瀬 泰然^{1,2}、瀧 靖之^{1,2}
¹東北大学病院加齢・老年病科、²東北大学加齢医学研究所臨床加齢医学研究分野
- 4-4-S33-2 ポリファーマシー対策 地域一体化に向けた現状と課題～病院薬剤師の立場から～
三宅 麻文
(公財)田附興風会医学研究所北野病院

- 4-4-S33-3 ポリファーマシー解決への取り組みと地域連携に向けた課題
古俣 孝明
彦根市立病院薬剤部
- 4-4-S33-4 病院および多職種との連携による保険薬局での医薬品適正使用の進め方
畑 世剛
一般社団法人宝塚市薬剤師会
- 4-4-S33-5 地域連携による医薬品適正使用の進め方
吉岡 睦展
宝塚市立病院薬剤部

シンポジウム34

15:50 ~ 17:50

地域医療連携の中で薬剤師がIMiDsを適切に管理するためのマネジメントメソッド

オーガナイザー：上ノ段 友里 (中津市立中津市民病院診療部薬剤科)、小枝 伸行 (八尾市立病院)
座長：上ノ段 友里 (中津市立中津市民病院診療部薬剤科)、池末 裕明 (神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部)

- 4-4-S34-1 IMiDsの胎児曝露防止と特定薬剤治療管理料2で薬剤師が果たすべき役割
遠藤 一司
一般社団法人北海道薬剤師会医薬情報センター
- 4-4-S34-2 薬害被害者から求める薬剤師や医療人への医療安全と情報の大切さ
間宮 清
NPO日本慢性疾患セルフマネジメント協会
- 4-4-S34-3 薬剤師から伝える医療関係者への職業性曝露対策と情報共有の在り方
間宮 伸幸
東京都済生会中央病院薬剤部
- 4-4-S34-4 IMiDsを調剤する病院薬剤師から院内・院外の医療従事者に向けた安全管理に向けた情報共有
上ノ段 友里
中津市立中津市民病院診療部薬剤科
- 4-4-S34-5 地域連携の中で保険薬剤師がIMiDsの適切な管理に関わった事例
川口 敏弘^{1,2}
¹有限会社白杵薬局、²中津薬剤師会

11月4日 (土)

第5会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 桜2)

シンポジウム35

9:00 ~ 11:00

電解質異常時における薬学的管理の How to を共有しよう

オーガナイザー・座長：三宅 健文 (社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院医療情報部)、門脇 大介 (崇城大学薬学部)

- 4-5-S35-1 知っておくと役立つ、電解質異常の病態把握のための How to
志水 英明
大同病院腎臓内科
- 4-5-S35-2 電解質 (Ca・P) 異常の病態把握のための How to
吉田 拓弥
特定医療法人仁真会白鷺病院薬剤科
- 4-5-S35-3 電解質 (K・Mg) 異常の病態把握のための How to
平井 利典
三重大学医学部附属病院薬剤部
- 4-5-S35-4 電解質 (Na・Cl) 異常の病態把握のための How to
柴田 啓智
済生会熊本病院薬剤部

シンポジウム36

13:35 ~ 15:35

社会のニーズに応える薬学教育・薬剤師育成を考える — 「医療薬学」から「臨床薬学」への進展 —

オーガナイザー・座長：松尾 宏一 (福岡大学薬学部)、吉村 知哲 (岐阜薬科大学病院薬学研究室)

- 4-5-S36-1 薬学教育モデル・コア・カリキュラムにおける「臨床薬学」とは
石井 伊都子
千葉大学医学部附属病院薬剤部

- 4-5-S36-2 「難しい」ことをどのように教育にするか
川口 崇^{1,2}
¹東京薬科大学医療実務薬学教室、²東北大学大学院医学統計学分野
- 4-5-S36-3 これからの薬剤師に必要な能力—薬物療法の個別最適化
高橋 克之
近畿大学薬学部臨床薬学部門社会薬学分野
- 4-5-S36-4 がん薬物療法に関する最前線での教育～医療薬学・臨床薬学の実践～
池末 裕明
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部

シンポジウム37

15:50～17:50

次世代を担う薬剤師の育成に向けた卒後教育の新展開

オーガナイザー・座長：山田 成樹（藤田医科大学病院薬剤部）、高橋 一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）

- 4-5-S37-1 薬剤師の卒後研修とキャリア形成
山田 清文
名古屋大学医学部附属病院薬剤部
- 4-5-S37-2 卒後臨床研修モデル事業と取りまとめ、今後の方向性について
石井 伊都子
千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 4-5-S37-3 コアカリ改訂：大学での薬剤師教育から卒後臨床教育に向けて
鈴木 匡
名古屋市立大学大学院薬学研究科
- 4-5-S37-4 医療職種の卒後教育の実際と多職種連携教育の必要性について
木内 祐二
昭和大学医学部

共催：一般社団法人日本薬学教育学会、日本保健医療福祉連携教育学会

11月4日（土）

第6会場（仙台国際センター 会議棟 3F 白樺1）

シンポジウム38

9:00～11:00

持続可能な薬剤師業務を実現するためのDX戦略～革新的な技術シーズの事業化～

オーガナイザー・座長：座間味 義人（岡山大学病院薬剤部）、村木 優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

- 4-6-S38-1 思考の可視化を目指した医療特化型EdTechの開発
牛尾 聡一郎
福岡大学薬学部生体機能制御学教室
- 4-6-S38-2 IoTおくすりカレンダーによる服薬フォローDX
佐古 卓人
H&HCONNECT株式会社
- 4-6-S38-3 腎機能を考慮した医薬品適正使用推進システムの開発-研究成果の社会実装まで-
近藤 悠希
熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学分野（臨床薬理学）
- 4-6-S38-4 大学病院薬剤部におけるDXを活用した先進的な薬剤業務の構築
座間味 義人¹、牛尾 聡一郎²、武田 達明³、濱野 裕章¹、鍛冶園 誠¹、西原 茂樹¹、村川 公央¹
¹岡山大学病院薬剤部、²福岡大学薬学部、³岡山大学臨床薬学教育研究センター
- 4-6-S38-5 薬学部におけるDXを活用した先進的な臨床薬学教育の実践
村木 優一
京都薬科大学臨床薬剤疫学分野

シンポジウム39

13:35～15:35

みんなで考える中小病院の薬剤師業務～病棟業務の実践から、人材確保、地域活動・連携まで～

オーガナイザー・座長：宮川 哲也（上越地域医療センター病院薬剤科）、濱浦 陸雄（藤市立病院薬剤科）

- 4-6-S39-1 中小病院で実践できるPBPM・タスクシフト/シェア～業務の効率化と質の向上を目指して～
瀧 祐介
菊川市立総合病院薬剤科

11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(口頭)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)一般演題
(ポスター)11月3日
(金・祝)11月4日
(土)11月5日
(日)

- 4-6-S39-2 中小病院だからこそ実践できる在宅医療とAdvance Care Planning (ACP) 活動
横山 敏紀
社会医療法人恵和会西岡病院薬局
- 4-6-S39-3 中小病院における人材の定着率向上に向けた取り組みについて～やりがいのある職場を目指して～
渡部 学
医療法人恒仁会新潟南病院薬剤部
- 4-6-S39-4 つながるを力に！～長野県病院薬剤師会中小病院委員会の活動～
伴野 一樹
軽井沢町国民健康保険軽井沢病院薬剤科
- 4-6-S39-5 大病院から見た中小病院一連携への信頼と期待を込めて～
筒井 由佳
社会医療法人近森会近森病院

シンポジウム40

15:50～17:50

処方提案のその先へ！心不全症例に対する薬剤師の介入ポイント～心リハと療養指導の視点をどう活かす？～

オーガナイザー・座長：吉国 健司 (独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 下関医療センター薬剤部)、
芦川 直也 (豊橋ハートセンター薬局)

- 4-6-S40-1 ここが大事だ！心不全症例に対する療養指導と心臓リハビリテーション
西崎 公貴
弘前大学医学部附属病院循環器内科, 腎臓内科
- 4-6-S40-2 心臓リハビリテーション指導士の視点から見る心不全
吉国 健司
独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 下関医療センター薬剤部
- 4-6-S40-3 実践！心不全患者のモニタリング ～心臓リハビリテーション指導士はどうしてる？～
向井 一樹
JA 広島総合病院薬剤部
- 4-6-S40-4 心不全療養指導士の視点から見る心不全
芦川 直也
豊橋ハートセンター薬局
- 4-6-S40-5 心不全パンデミックに挑む薬剤師の挑戦 ～いつもの服薬指導の一步先へ～
石井 聡一郎
広島大学病院薬剤部

共催：一般社団法人日本循環器学会
特定非営利活動法人日本心臓リハビリテーション学会

11月4日 (土)

第12会場 (仙台国際センター 展示棟 1F 会議室3)

シンポジウム41

9:00～11:00

CAREガイドラインの視点から症例報告について考えよう！～薬剤師の経験が患者を救う～

オーガナイザー・座長：藤宮 龍祥 (東京薬科大学薬学部医療実務薬学教室)、小澤 有輝 (神奈川県警友会けいゆう病院)

- 4-12-S41-1 なぜ今、症例報告なのか？ -CAREで症例報告の質を高めよう-
藤宮 龍祥
東京薬科大学薬学部医療実務薬学教室
- 4-12-S41-2 ST合剤によるSIADH -症例報告で重要な独自性、メッセージ性について-
米澤 龍^{1,2}
¹昭和大学藤が丘病院薬剤部、²昭和大学薬学部病院薬剤学講座
- 4-12-S41-3 アベマシクリブの肝障害 -CAREガイドライン体験記-
小澤 有輝
神奈川県警友会けいゆう病院薬剤部
- 4-12-S41-4 症例報告に求められる臨床推論の考え方について
鈴木 信也
東京薬科大学薬学部薬学実務実習教育センター

4-12-S41-5 CAREの視点で考える症例報告の活かし方

上塚 朋子
福井県済生会病院薬剤部

シンポジウム42

13:35 ~ 15:35

薬剤師による良質なエビデンス創出を目指す —真に解決すべきclinical questionに対する成功事例に学ぶ—

オーガナイザー：石澤 啓介 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学 / 徳島大学病院薬剤部・総合臨床研究センター)、
田崎 嘉一 (旭川医科大学病院薬剤部)
座長：中馬 真幸 (旭川医科大学病院薬剤部)、
川田 敬 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬学実務教育学分野)

4-12-S42-1 薬剤師による抗菌薬適正使用支援業務の評価 —業務の改善・変化を科学的に検証する方法—

山口 諒
東京大学医学部附属病院薬剤部

4-12-S42-2 ハイレベルのエビデンスを創出するための多機関共同研究 —研究立案と運営の秘訣—

飯原 大稔
岐阜大学医学部附属病院薬剤部

4-12-S42-3 パーキンソン病薬物治療における薬物動態関連遺伝子情報応用の検討

山本 譲、田崎 嘉一
旭川医科大学病院薬剤部

4-12-S42-4 基礎研究の力で明らかになる新たな真実：clinical questionの解決に向けて

川田 敬^{1,2}、石田 智晃³、阿部 真治¹、合田 光寛^{2,4}、石澤 啓介^{2,4,5}
¹徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬学実務教育学分野、²徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床薬理学分野、
³高知大学医学部附属病院薬剤部、⁴徳島大学病院薬剤部、⁵徳島大学病院総合臨床研究センター

4-12-S42-5 医療ビッグデータ活用を基盤としたデータサイエンスによる臨床エビデンスの創出

濱野 裕章¹、牛尾 聡一郎²、松本 准³、新村 貴博⁴、相澤 風花⁵、八木 健太⁴、合田 光寛^{5,6}、石澤 啓介^{4,5,6}、
座間味 義人¹
¹岡山大学病院薬剤部、²福岡大学薬学部、³岡山大学疾患薬理制御科学、⁴徳島大学病院臨床試験センター、
⁵徳島大学病院薬剤部、⁶徳島大学病院臨床薬理学分野

シンポジウム43

15:50 ~ 17:50

整形外科領域の薬学管理 -今できることを再確認し、この先の可能性を考える-

オーガナイザー：長谷川 裕矢 (社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院薬剤部)、三浦 誠 (医療法人社団洛和会洛和会音羽病院)
座長：長谷川 裕矢 (社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院薬剤部)、
辰巳 真穂 (地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院)

4-12-S43-1 外傷・感染症への介入：Preventable Trauma Disabilityを防ぐために

檜山 洋子¹、大饗 和憲²
¹広島大学病院薬剤部、²広島大学四肢外傷再建学講座

4-12-S43-2 整形外科領域のがん化学療法と多職種連携

中川 祐紀子
金沢大学附属病院薬剤部

4-12-S43-3 入院から退院までつなぐ薬剤師業務と京都府病院薬剤師会領域別カンファレンスの取り組み

天満 智也
京都第一赤十字病院薬剤部

4-12-S43-4 鎮痛薬、睡眠薬、骨粗鬆症治療薬を中心とした整形外科領域の薬学的介入の実際

長谷川 裕矢
社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院薬剤部

4-12-S43-5 薬剤師が行う骨粗鬆症リエゾンサービス

長谷 奈那子
磐田市立総合病院薬剤部

11月4日(土)

第13会場(仙台国際センター 展示棟 1F 会議室4)

シンポジウム44

9:00 ~ 11:00

The progress of international exchange program in oncology pharmacy practice

Organizers・Chairs: Masami Tsuchiya (Department of Pharmacy, Miyagi Cancer Center, Japan)、
Yukiyoshi Fujita (Division of Pharmacy, Gunma Prefectural Cancer Center, Japan)

- 4-13-S44-1 International exchange programs in pre-graduate pharmacy education at Keio University Faculty of Pharmacy
Sayo Suzuki
Keio University Faculty of Pharmacy, Japan
- 4-13-S44-2 International Exchange Initiatives at Kameda General Hospital
Yukari Kataoka
Kameda General Hospital / Department of Pharmacy, Japan
- 4-13-S44-3 Participate in cancer pharmacist training overseas...
Yumi Morioka
Kagoshima Kouseiren Hospital Department of Pharmacy, Japan
- 4-13-S44-4 International exchange program experience in Thailand
Manit Saeteaw
Faculty of pharmaceutical sciences, Ubon Ratchathani University, Thailand

共催:公益財団法人小林がん学術振興会

臨床研究推進委員会企画シンポジウム

13:35 ~ 15:35

優れた研究能力と高い専門性を活用し患者アウトカムを改善する!

オーガナイザー・座長:山口 浩明(山形大学医学部附属病院薬剤部)、鈴木 小夜(慶應義塾大学薬学部)

- CP2-1 患者アウトカムを改善するための研究能力と専門性を備えた薬剤師の育成
山口 浩明
山形大学医学部附属病院薬剤部
- CP2-2 栄養領域におけるエビデンス構築に向けた取り組み
稲毛 あずさ
山形大学医学部附属病院薬剤部
- CP2-3 抗菌薬適正使用における薬剤師主導の取り組みとアウトカム評価
宇田 篤史
神戸大学医学部附属病院薬剤部
- CP2-4 がん薬物療法における患者アウトカム改善を目指して
那須 いずみ
虎の門病院薬剤部
- CP2-5 医療ビッグデータと機械学習のチカラで、患者アウトカム改善を目指す!
今井 俊吾
慶應義塾大学薬学部

薬物療法集中講義企画・運営小委員会企画シンポジウム

15:50 ~ 17:50

質の高い専門薬剤師を目指して ~多様化する薬物療法の専門家になろう!~

オーガナイザー・座長:樋口 則英(長崎みなとメディカルセンター)、鈴木 貴明(山梨大学医学部附属病院薬剤部)

- CP3-1 クリアランスで理解する血液浄化療法の薬物投与設計
山本 武人
東京大学医学部附属病院薬剤部
- CP3-2 注意欠如・多動症(ADHD)の薬物療法-RCTとRWE-
佐々木 剛
千葉大学医学部附属病院こどものこころ診療部・精神神経科
- CP3-3 多病患者に対する薬物療法専門薬剤師の薬学的ケア
小川 敦^{1,2}、石澤 啓介^{1,2,3}
¹徳島大学病院薬剤部、²徳島大学大学院医歯薬学研究部医学域臨床薬理学分野、³徳島大学病院総合臨床研究センター

CP3-4 どう書く？「薬学的介入を伴った症例報告」のポイントとは ～申請者・指導者としての立場から～
八木 達也
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

11月4日(土)

第14会場(東北大学百周年記念会館 2F 萩ホール)

シンポジウム45

9:00～11:00

「周術期薬剤管理」と「術後疼痛管理チーム」現場での工夫～こんなことやってます！～

オーガナイザー・座長：舟越 亮寛(医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤管理部)、柴田 ゆうか(広島大学病院薬剤部)

- 4-14-S45-1 麻酔科医からのタスクシフトを目指して～周術期チーム立ち上げから今後の展望～
藤田 翔¹、金城 勝大¹、宮良 遥奈¹、吾津 千秋¹、小杉 卓大¹、國分 千代¹、梶原 理恵²、新里 泰一³
¹社会医療法人友愛会友愛医療センター薬剤科、²社会医療法人友愛会友愛医療センター看護部、
³社会医療法人友愛会友愛医療センター麻酔科
- 4-14-S45-2 手術室における薬学的管理に挑む
亀田 皓介、内田 会美、山本 卓矢、増田 大輔、上野 正夫
獨協医科大学埼玉医療センター薬剤部
- 4-14-S45-3 日病薬チェックリストという地図は手に入れた！手術室という海へ漕ぎ出そう！
金森 麻土香¹、中丸 朗¹、柿沼 宏幸²、小島 正夫³、佐藤 学¹、金子 和生¹、戸村 さよ子⁴、伊藤 裕子⁴、
遠藤 千晴⁴、益子 ひろみ⁴、浅利 圭介⁴、田村 華恵¹、小川 結花¹、清水 美子⁴
¹那須赤十字病院薬剤部、²那須赤十字病院麻酔科、³那須赤十字病院外科、⁴那須赤十字病院看護部
- 4-14-S45-4 術後疼痛管理チーム発足から周術期薬剤管理の未来に向けて
小林 大祐
京都第二赤十字病院薬剤部
- 4-14-S45-5 術後疼痛管理チームにおける薬剤師の関わり
村川 公央、勝部 理早、小沼 利光、西原 茂樹、座間味 義人
岡山大学病院薬剤部
- 4-14-S45-6 最高の術後疼痛管理チームを目指して
竹之内 正記
済生会横浜市東部病院薬剤部

シンポジウム46

13:35～15:35

2035年の医療総力戦に備える！急変のWarning signsを考動に繋がられる薬剤師になろう！

オーガナイザー・座長：中園 健一(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部/感染制御室)、
今井 徹(日本大学医学部附属板橋病院薬剤部)

- 4-14-S46-1 Warning signs: 呼吸変化へのアプローチ
鈴木 善樹
埼玉医科大学病院薬剤部
- 4-14-S46-2 逃さない！意識変容(せん妄)に隠された重篤疾患
岩内 大佑
医療法人社団洛和会洛和会音羽病院
- 4-14-S46-3 発熱を見逃さない！薬剤師が評価すべきWarning Signとしての発熱
西田 祥啓
金沢医科大学病院薬剤部
- 4-14-S46-4 頻脈は無理やり抑え込むな！あらゆる可能性を考えよう。
若杉 和美
長崎大学病院薬剤部

コメンテーター：前田 幹広(聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

共催：一般社団法人日本集中治療医学会(日本集中治療医学会50周年記念企画)

シンポジウム47

15:50～17:50

ミクロとマクロの視点 ケア移行を1症例を通じて考える～救急・周術期・集中治療・急性期・地域医療～

オーガナイザー・座長：齋藤 靖弘(医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院薬剤部)、吉川 博(広島大学病院薬剤部)

- 4-14-S47-1 救急外来から始めるシームレスな薬物療法と薬剤師の役割
川島 裕明
京都第二赤十字病院薬剤部

- 4-14-S47-2 術後合併症問題にZoom in 手術患者の介護問題までZoom out
猪狩 賢蔵
医療法人社団城東桐和会タムス瑞江病院
- 4-14-S47-3 集中治療チームで行うmedication reconciliation ～評価と計画～
安藝 敬生
長崎大学病院薬剤部
- 4-14-S47-4 急性期病棟における薬剤師の役割 ～地域医療につなぐために～
菅原 隆文
地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院薬剤部
- 4-14-S47-5 地域で過ごすための薬学的支援と医療・介護の連携
宮坂 善之
瀬戸内徳洲会病院薬剤部

11月4日 (土)

第15会場 (東北大学百周年記念会館 2F 会議室)

シンポジウム48

9:00 ~ 11:00

臨床薬剤師が始める「血液がん領域」の研究-現場での気付きから実践までのノウハウ-

オーガナイザー・座長: 安 武夫 (明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門治療評価学)、
伊藤 佳織 (名城大学薬学部病態解析学Ⅲ)

- 4-15-S48-1 造血管腫瘍患者における薬剤師の処方提案
～臨床業務から研究へ～
南 貴之
山梨県立中央病院薬剤部
- 4-15-S48-2 臨床薬剤師として血液がん領域の緩和ケア介入について考える
伊藤 佳織
名城大学薬学部病態解析学Ⅲ
- 4-15-S48-3 患者観察に臨床薬理学的視点を取り入れてみよう～ハイ・アラート薬がたくさん投与される患者さんを守るために～
土手 賢史
京都桂病院薬剤科
- 4-15-S48-4 薬剤師の視点からみる造血幹細胞移植における薬物相互作用
中島 寿久
国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院薬剤部/感染制御室
- 4-15-S48-5 多職種協働による血液がん領域の支持療法の有用性と安全性の検討
内田 まやこ
同志社女子大学薬学部臨床薬学教育研究センター

シンポジウム49

13:35 ~ 15:35

ファーマコゲノミクス検査の臨床実装に向けた現状と課題

オーガナイザー・座長: 寺田 智祐 (京都大学医学部附属病院薬剤部)、新岡 文典 (弘前大学医学部附属病院)

- 4-15-S49-1 診療における薬理遺伝学検査の運用に関する提言について
寺田 智祐
京都大学医学部附属病院薬剤部
- 4-15-S49-2 経口第Xa因子阻害薬のPK-PGx解析
中川 潤一
弘前大学医学部附属病院薬剤部
- 4-15-S49-3 薬剤性間質性肺疾患の発症に関連する遺伝子多型の探索
田中 庸一¹、福永 航也²、牛木 淳人³、花岡 正幸³、齋藤 嘉朗¹
¹国立医薬品食品衛生研究所医薬安全科学部、²理化学研究所、³信州大学医学部
- 4-15-S49-4 電子カルテへのPGx検査実装と臨床的有用性
杉本 充弘、平 大樹、寺田 智祐
京都大学医学部附属病院薬剤部
- 4-15-S49-5 実臨床でのファーマコゲノミクス検査の普及状況と臨床実装に向けた課題
辻 大樹¹、齋藤 嘉朗²、蓮田 泰誠³、三浦 昌朋⁴、平 大樹⁵、寺田 智祐⁵
¹静岡県立大学薬学部、²国立医薬品食品衛生研究所、³理化学研究所生命医科学研究センターファーマコゲノミクス研究チーム、
⁴秋田大学大学院医学系研究科薬物動態学講座、⁵京都大学医学部附属病院薬剤部

シンポジウム50

15:50 ~ 17:50

TDMの過去・現在の振り返り、そして次世代への発展

オーガナイザー・座長：尾田 一貴 (熊本大学病院)、榎屋 友幸 (鈴鹿医療科学大学)

- 4-15-S50-1 集中治療・感染症領域におけるTDMのこれから
尾田 一貴
熊本大学病院薬剤部
- 4-15-S50-2 小児の成熟度を考慮した治療薬物モニタリング
辻 泰弘
日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室
- 4-15-S50-3 分子標的抗がん薬のtherapeutic drug monitoring
野田 哲史
立命館大学薬学部薬学科
- 4-15-S50-4 精神科領域におけるtherapeutic drug monitoringについて
猿渡 淳二
熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療設計学講座
- 4-15-S50-5 急性薬物中毒領域における血中濃度測定：現状と課題
榎屋 友幸
鈴鹿医療科学大学薬学部薬学科

11月5日 (日)

第1会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 大ホール)

シンポジウム51

9:00 ~ 11:00

がん化学療法における薬薬連携の現状と未来

～新たなステップへ邁進するため我々はどうアクションすべきか～

オーガナイザー・座長：杉山 弘樹 (静岡市立清水病院薬剤部)、
木村 緑 (株) ケアホープ医療コンサルティング事業部ファーマフロント)

5-1-S51-1 薬薬連携に関わる病院薬剤師の使命 ～本シンポジウム開催に込めた思い～

杉山 弘樹
静岡市立清水病院薬剤部

5-1-S51-2 病院薬剤師経験者だからこそわかる「薬局薬剤師が欲しい情報」とは？

木村 緑
(株) ケアホープ医療コンサルティング事業部ファーマフロント

5-1-S51-3 『WHY』から始める患者のための連携と薬局薬剤師の本音

笹原 侑祐
クオール株式会社クオール薬局つくば桐の葉モール店

5-1-S51-4 がん治療における薬剤師からの情報提供の有用性：オンコロジストの立場から

森川 直人
東北労災病院

5-1-S51-5 患者が薬剤師や薬薬連携・病薬連携に期待すること

西村 和佳子
がん体験者と家族の語り合いの場 日和山カフェ

地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会企画シンポジウム

13:35 ~ 15:35

地域薬学ケア専門薬剤師の現在と今後

オーガナイザー・座長：豊見 敦 (南海老園豊見薬局)、宮崎 長一郎 (有) 宮崎薬局)

CP4-1 薬剤師の資質向上とそのための課題

太田 美紀
厚生労働省

CP4-2 生涯研鑽から目指す高い専門性の修得

高松 登
公益社団法人日本薬剤師会

CP4-3 金沢大学病院における地域薬学ケア専門薬剤師研修方法 -自ら実践して学び、共に育つ-

原 祐輔
金沢大学附属病院薬剤部

CP4-4 地域薬学ケア専門薬剤師 (がん) 暫定認定取得後の現在と今後の方向性について

岩崎 章吾
井手薬品株式会社井手薬局在宅療養支援つむぎ

CP4-5 暫定認定取得後の現在と今後に向けた取り組み

松浦 綾子
(株) オオノひかり薬局大学病院前調剤センター

CP4-6 地域薬学ケアの向上に必要な意識と薬局における取組について - 薬局薬剤師の立場から

松本 由加里
トライアドウエスト株式会社かもめ薬局中津店

11月5日 (日)

第2会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 橘)

シンポジウム52

9:00 ~ 11:00

2040年問題における医療・介護連携に薬剤師はどう携わっていくべきか？

オーガナイザー・座長：尾上 雅英 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)、辻井 聡容 (公立豊岡病院組合立豊岡病院)

5-2-S52-1 医療経営大学院の教員の視点から

多湖 雅博
京都文教大学総合社会学部総合社会学科

- 5-2-S52-2 医療経営大学院で学んだ病院薬剤師の立場から
尾上 雅英
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
- 5-2-S52-3 医療、介護と連携している保険薬局の立場からの現状と課題
～薬局3.0を通じて今後の保険薬局の展望～
安里 芳人
ファルメディコ株式会社ハザマ薬局
- 5-2-S52-4 介護支援専門員の資格をもつ地域中核病院の薬剤師の立場から
辻井 聡容
公立豊岡病院組合立豊岡病院
- 5-2-S52-5 入退院支援加算を先進的に実施している病院薬剤師の視点から
堀内 賢一
JA長野厚生連佐久総合病院

シンポジウム53

13:35 ~ 15:35

病院フォーミュラリと地域フォーミュラリの連携—よりよい地域医療を目指して—

オーガナイザー・座長：渡辺 善照 (東北医科薬科大学)、高橋 将喜 (公益社団法人仙台市薬剤師会)

- 5-2-S53-1 医薬品の適正使用と薬剤師への期待 —医療Dxも見据えた適正使用(地域フォーミュラリの活用も)—
中井 清人
厚生労働省
- 5-2-S53-2 地域包括ケア時代におけるフォーミュラリ：医療機能の分化・強化・連携と持続可能な治療管理
川上 純一
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部
- 5-2-S53-3 我が国における医薬品フォーミュラリの展望
小池 博文
横浜市立大学附属病院薬剤部
- 5-2-S53-4 英国フォーミュラリ ～質と経済性の両立の鍵は
佐々江 龍一郎
NTT東日本関東病院国際診療科
- 5-2-S53-5 仙台市における医薬品フォーミュラリの構築と運用
渡辺 善照^{1,2}、男澤 貴子²、菅原 茂樹²、花井 拓斗²、一戸 集平^{3,4}、桒窪 克行^{2,3,5}
¹東北医科薬科大学、²(公社)仙台市薬剤師会、³(一社)宮城県病院薬剤師会、⁴(独法)国立病院機構仙台医療センター薬剤部、⁵(公社)仙台市医療センター仙台オープン病院薬剤部

11月5日 (日)

第3会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 萩)

シンポジウム54

9:00 ~ 11:00

どうする安全対策！「医療事故の再発防止に向けた提言(第15号)」公表に伴う各施設の取り組みの実際

オーガナイザー・座長：西原 雅美 (大阪医科薬科大学病院)、
河瀬 留美 (公財) 淀川勤労者厚生協会附属西淀病院医療安全管理室)

- 5-3-S54-1 医療事故の再発防止に向けた提言に関連して医療機関に求められる行動は何か
土屋 文人
医薬品安全使用調査研究機構設立準備室
- 5-3-S54-2 医療事故の再発防止に向けた提言(第15号)を受けて ～特定機能病院における医療安全専従薬剤師の立場から～
菊田 裕規^{1,2}、西原 雅美¹
¹大阪医科薬科大学病院薬剤部、²大阪医科薬科大学病院医療総合管理部医療安全推進室
- 5-3-S54-3 医療事故の再発防止に向けた提言(第15号)を受けて ～大病院の立場から～
菅野 浩¹、齋藤 謙治^{1,2}
¹済生会横浜市東部病院薬剤部、²済生会横浜市東部病院医療安全管理室
- 5-3-S54-4 医療事故の再発防止に向けた提言(第15号)を受けて ～中小病院の立場から～
町谷 安紀^{1,2,3}、東川 明子^{2,3}
¹社会医療法人生長会阪南市民病院薬剤部薬剤科、²社会医療法人生長会阪南市民病院医療安全管理室、
³社会医療法人生長会クオリティ・マネジメント本部法人医療安全・危機管理室

第33回日本医療薬学会年会

5-3-S54-5 医療事故の再発防止に向けた提言(第15号)を受けて ～とある自治体病院の現状と取り組み～
岸本 真
霧島市立医師会医療センター薬剤部

シンポジウム55

13:35 ~ 15:35

薬業連携の醸成はトレーシングレポートの標準化から
～がん薬物療法の安心・安全を目指す東京都の取組～

オーガナイザー：清水 久範(公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部)、山口 正和(公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部)
座長：山口 正和(公益財団法人がん研究会有明病院薬剤部)、後藤 一美(聖路加国際病院薬剤部)

5-3-S55-1 「東京都がん薬物療法協議会」発足の経緯について
山口 正和
公益財団法人がん研究会有明病院

5-3-S55-2 東京都保健医療局の立場から
鎌田 智之
東京都保健医療局健康安全部薬務課

5-3-S55-3 東京都薬剤師会薬業連携委員会の立場から
島田 淳史
スエヤス調剤薬局文京店

5-3-S55-4 薬業連携の“理想”を具現化するために... ～病院薬剤師の立場から薬業連携の醸成を本気で考えてみる～
小川 千晶
国立病院機構東京医療センター

5-3-S55-5 病院研修を経て検討したトレーシングレポートの在り方と課題～薬局薬剤師の立場から～
辻 将成
株式会社アインファーマシーズ

共催：東京都がん診療連携協議会研修部会
一般社団法人東京都病院薬剤師会
公益社団法人東京都薬剤師会

11月5日(日)

第4会場(仙台国際センター 会議棟 2F 桜1)

Postdoctoral Award 受賞講演

9:00 ~ 10:40

座長：伊藤 清美(武蔵野大学薬学部)

PA-1 臓器移植における免疫抑制薬の適正使用を目指したファーマコメト릭ス研究
糸原 光太郎
神戸大学医学部附属病院薬剤部

PA-2 精神疾患の情動・認知機能におけるグリア型グルタミン酸トランスポーターの機能的役割に関する研究
内田 美月^{1,2}
¹名城大学薬学部病態解析学I、²名古屋大学医学部附属病院薬剤部

PA-3 細胞内動態制御を基盤とした核酸医薬品開発に関する研究
梅村 圭祐
京都大学医学部附属病院薬剤部

PA-4 薬剤耐性による日本の医療施設における経済的負荷の検討
莊司 智和
山梨大学医学部附属病院薬剤部

PA-5 頭頸部がん患者におけるトラマドールとその脱メチル化代謝物の光学異性体の血中動態解析に基づく臨床薬理研究
鈴木 光路
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

PA-6 隣がん悪液質に関連する因子に関する検討
鈴木 秀隆^{1,2}

¹国立がん研究センター東病院薬剤部、
²国立がん研究センター先端医療開発センターバイオマーカー探索トランスレーショナルリサーチ分野

PA-7 メディケーションエラーの分析及び検証による医療安全への貢献
鈴木 亮平
独立行政法人国立病院機構東名古屋病院薬剤部

主要プログラム

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(口頭)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(ポスター)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

- PA-8 Clostridioides difficile感染マウスモデルを用いた糞中動態に基づく治療薬の有効性評価法の構築
田代 渉
大分大学医学部附属病院薬剤部
- PA-9 消化器外科領域における薬物療法の有効性及び安全性に関する研究
中澤 孝文
千葉大学医学部附属病院薬剤部
- PA-10 免疫チェックポイント阻害薬使用患者の癌種横断的レジストリの構築、ならびに治療効果・免疫関連有害事象発現の予測に関する研究
松金 良祐
九州大学病院薬剤部

日本医療薬学会賞受賞・学術賞受賞・奨励賞受賞講演

13:30 ~ 15:10

座長：山本 康次郎 (群馬大学医学部附属病院薬剤部)

- 受賞 -1 (日本医療薬学会賞受賞講演) 薬物相互作用の個人差に関する医療薬学研究
大谷 壽一^{1,2,3}
¹慶應義塾大学医学部、²慶應義塾大学病院薬剤部、³慶應義塾大学薬学部
- 受賞 -2 (日本医療薬学会賞受賞講演) 薬物体内動態制御と薬物療法の個別最適化を目指したリバーストランスレーショナル研究
崔 吉道
金沢大学附属病院薬剤部

座長：石井 伊都子 (千葉大学医学部附属病院薬剤部)

- 受賞 -3 (学術賞受賞講演) がん薬物療法における多職種協働による臨床薬剤業務のアウトカム評価に関する研究
池末 裕明
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 受賞 -4 (奨励賞受賞講演) 抗菌薬適正使用推進による患者アウトカム向上を指向した医療薬学研究の実践
岡田 直人
山口大学医学部附属病院薬剤部
- 受賞 -5 (奨励賞受賞講演) 最適な薬物療法をHIV感染症患者に提供するための臨床研究
日笠 真一
兵庫医科大学病院薬剤部
- 受賞 -6 (奨励賞受賞講演) PK-PD理論およびデータサイエンスに基づく Drug-drug / Drug-condition interactionに関する臨床薬理研究
八木 達也
浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

11月5日 (日)

第5会場 (仙台国際センター 会議棟 2F 桜2)

シンポジウム56

9:00 ~ 11:00

医療資源の乏しい地域を支える薬剤師の確保と育成、自治体との協働

オーガナイザー：崔 吉道 (金沢大学附属病院薬剤部)、堀 里子 (慶應義塾大学薬学部)

座長：堀 里子 (慶應義塾大学薬学部)、玉井 郁巳 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

- 5-5-S56-1 医療資源の乏しい地域を支える薬剤師の確保と育成、自治体との協働を進めるために
崔 吉道
金沢大学附属病院薬剤部
- 5-5-S56-2 医療資源の乏しい地域の課題と薬局・薬剤師の役割
堀 里子
慶應義塾大学薬学部
- 5-5-S56-3 偏在解消に向けた薬剤師の確保について
眞野 成康
東北大学病院薬剤部
- 5-5-S56-4 地域一体型実務実習「舞鶴プログラム」
楠本 正明
一般社団法人京都府薬剤師会

- 5-5-S56-5 石川県における薬剤師確保に関する取り組み ～石川県地域連携薬剤師共育プログラム～
 松下 悠希¹、福井 優子²
¹石川県立こころの病院、²石川県健康福祉部薬事衛生課

シンポジウム57

13:35 ~ 15:35

褥瘡予防・治療における薬剤師の役割 ～あなたの背中を後押しいたします！～

オーガナイザー・座長：飯塚 雄次（帝京大学ちば総合医療センター）、武藤 理恵（東北大学病院薬剤部）

- 5-5-S57-1 日本褥瘡学会が薬剤師に望むこと
 館 正弘
 医療法人社団赤石会赤石病院形成外科
- 5-5-S57-2 褥瘡対策に関する診療報酬改定における薬剤師の役割
 関根 祐介
 東京医科大学病院薬剤部
- 5-5-S57-3 入院基本料褥瘡の薬学的管理計画に直結する薬剤師の視点
 ～基剤特性と薬剤滞留を活かした褥瘡の外用薬治療：フルタメソッド～
 古田 勝経
 医療法人愛生館小林記念病院褥瘡ケアセンター
- 5-5-S57-4 褥瘡治療・予防に関する全身状態の把握
 溝神 文博^{1,2}
¹国立長寿医療研究センター薬剤部、²国立長寿医療研究センター長寿医療研修部高齢者薬学教育研修室
- 5-5-S57-5 褥瘡に薬剤師が介入して見えてきたこと ～薬局薬剤師の在宅褥瘡における役割～
 小黑 佳代子
 株式会社ファーマ・プラス プラス薬局高崎吉井店

11月5日（日）

第6会場（仙台国際センター 会議棟 3F 白檀1）

シンポジウム58

9:00 ~ 11:00

医療と病院薬剤師のDX ～医療現場からの現状報告とこれからの12年に向けての取り組み～

オーガナイザー：高橋 正明（社会医療法人若竹会つくばセントラル病院）、山中 理（市立大津市民病院）
 座長：宮村 信輝（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）、
 高橋 正明（社会医療法人若竹会つくばセントラル病院）

- 5-6-S58-1 電子処方箋を始めとした医療DXや今後の動き等について
 高橋 悠一
 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課
- 5-6-S58-2 YJコードを活用した持参薬調剤の取り組み
 田中 正臣
 医療法人彰和会北海道消化器科病院薬剤部
- 5-6-S58-3 GS-1バーコードの活用による業務改善と超高齢化社会における病院薬剤師業務の課題
 中尾 元紀
 医療法人社団裕正会生駒病院
- 5-6-S58-4 QRコード付き入院時服薬情報提供書を用いた保険薬局～病院間の連携の強化
 五十嵐 敏明
 東北大学病院薬剤部
- 5-6-S58-5 先進的なITを活用した実臨床を疑似体験する薬剤師教育コンテンツについて
 牛尾 聡一郎
 福岡大学薬学部生体機能制御学教室

シンポジウム59

13:35 ~ 15:35

副作用症例から学び患者を守る、それが私達の使命です

オーガナイザー・座長：前田 頼伸（福山大学薬学部）、富岡 謙二（労働者健康安全機構山陰労災病院薬剤部）

- 5-6-S59-1 副作用症例の動態解析による処方適正化
 前田 頼伸
 福山大学薬学部薬剤情報解析学研究室

- 5-6-S59-2 電子カルテを利用した副作用情報管理
富岡 謙二
労働者健康安全機構山陰労災病院薬剤部
- 5-6-S59-3 副作用・アレルギー情報の一元管理体制の有用性
荒木 良介
大和市立病院薬剤科
- 5-6-S59-4 医薬品副作用被害救済制度における不支給事例からみた適正使用の重要性
薄井 健介^{1,2}
¹東北医科薬科大学薬学部、²東北医科薬科大学病院薬剤部
- 5-6-S59-5 保険薬局における副作用モニター活動を通じた医薬品の健康被害からいかに患者を守るか
廣田 憲威
一般社団法人大阪ファルマプラン

共催：一般社団法人日本医療品安全性学会

11月5日(日)

第12会場(仙台国際センター 展示棟 1F 会議室3)

シンポジウム60

9:00 ~ 11:00

がんの臨床教育と次世代を担う薬剤師の育成を考える

オーガナイザー・座長：上ノ段 友里(中津市立中津市民病院診療部薬剤科)、佐藤 雄己(福山大学薬学部薬学科)

- 5-12-S60-1 がんの臨床教育と次世代を担う薬剤師の育成を考える～大学教員の立場から～
佐藤 雄己
福山大学薬学部薬学科
- 5-12-S60-2 がん専門病院で教育制度について
松井 礼子
国立がん研究センター東病院薬剤部
- 5-12-S60-3 大阪府がん診療拠点病院の薬剤部が取り組んでいること
萱野 勇一郎
大阪府済生会中津病院薬剤部
- 5-12-S60-4 薬剤師の専門性が支えるがんの臨床教育 ～保険薬局の立場から～
久田 健登
望星薬局
- 5-12-S60-5 実務実習を経験した立場から考える医療現場に求めるがんの臨床教育
道原 あやな
岡山大学病院薬剤部

シンポジウム61

13:35 ~ 15:35

在宅移行にむけて緩和領域における医療安全の取り組み

オーガナイザー・座長：高瀬 久光(日本医科大学多摩永山病院薬剤部)、井手口 直子(帝京平成大学薬学部)

- 5-12-S61-1 入退院連携に必要な思考と医療マインド
小林 篤史
株式会社佳林 カリン薬局
- 5-12-S61-2 在宅患者受け入れ時の医療安全のポイント
佐久間 詠理¹、川内 潤也¹、渡邊 淳子²
¹医療法人社団淳友会わたホームクリニック、²医療法人社団淳友会わたクリニック
- 5-12-S61-3 持続皮下注施行の患者を受け入れる保険薬局として、私達が考えていること
宇都宮 励子
一般社団法人大阪ファルマプラン
- 5-12-S61-4 緩和医療における配合変化試験に基づく医療用麻薬注射薬配合マネジメントのススメ
～安全な注射薬点滴ルート選択をめざして～
近藤 匡慶
日本医科大学多摩永山病院薬剤部
- 5-12-S61-5 がん患者の残された時間のために今現場で病院薬剤師が患者に寄り添える介入は何か
藤堂 真紀
埼玉医科大学国際医療センター薬剤部

11月5日(日)

第13会場(仙台国際センター 展示棟 1F 会議室4)

シンポジウム62

9:00 ~ 11:00

患者の痛みを取る為の2035年に向けた薬剤師像
専門的緩和ケアのための患者個別適正化緩和薬物療法戦略

オーガナイザー・座長: 伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部・がん包括診療部緩和ケア室)、
金子 健(慶應義塾大学病院薬剤部/緩和ケアセンター)

- 5-13-S62-1 薬学的なディスカッションが緩和医療を変える
— 緩和医療領域で求められる薬剤師の専門性 —
的場 元弘
青森県立中央病院緩和ケアセンター
- 5-13-S62-2 臨床薬剤師に必要な緩和医療領域におけるスキルと課題
山田 正実
大阪府済生会野江病院薬剤科
- 5-13-S62-3 東京都病院薬剤師会緩和医療領域薬剤師養成研究会に見る緩和医療教育と課題
金子 健^{1,2}、竹内 麻理²
¹慶應義塾大学病院薬剤部、²慶應義塾大学医学部緩和ケアセンター
- 5-13-S62-4 緩和café- Tokyo Supportive Oncology Pharmacist Pain Board -病院薬局同時教育プログラム運営とその課題
伊東 俊雅
東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部
- 5-13-S62-5 薬局薬剤師に必要な緩和医療領域における薬物療法スキルと課題緩和医療薬局認証制度設計から見えるもの
小林 篤史
株式会社佳林 カリン薬局

シンポジウム63

13:35 ~ 15:35

在宅がん緩和ケアにおける注射薬、医療用麻薬の供給と薬剤師・薬局のかかりつけ機能の課題

オーガナイザー・座長: 串田 一樹(昭和薬科大学)、
伊東 俊雅(東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部・がん包括診療部緩和ケア室)

- 5-13-S63-1 薬局調査【薬菌】から見える在宅がん緩和ケアにおける薬局の機能分化と連携
串田 一樹、廣原 正宜、宮崎 生子
昭和薬科大学
- 5-13-S63-2 訪問活動を通して見える在宅がん緩和ケア
佐々木 健
メディブレイス365訪問薬局
- 5-13-S63-3 地域包括ケアシステムにおける薬局間連携とその課題
白石 丈也
有限会社メディックス白石 けや木薬局
- 5-13-S63-4 在宅がん緩和ケアを支える薬剤師のはたらき-在支診薬剤師の視点から
大須賀 悠子
在宅療養支援診療所薬剤師連絡会

11月5日(日)

第14会場(東北大学百周年記念会館 2F 萩ホール)

シンポジウム64

9:00 ~ 11:00

医薬品の供給不安問題を解決するための議論をどこで、誰がすべきかを考える

オーガナイザー・座長: 室井 延之(神戸市立医療センター中央市民病院)、四方 敬介(京都府立医科大学附属病院)

- 5-14-S64-1 医薬品の供給不安問題を解決するための議論をどこで、誰がすべきかを考える~医薬品供給情報の共有と透明性を高めるために~
室井 延之
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 5-14-S64-2 医薬品の供給不足の院外処方の問合せに対する影響と問合せ対応の簡素化プロトコールの有用性
高瀬 友貴
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部

主要プログラム

11月3日

(金・祝)

11月4日

(土)

11月5日

(日)

一般演題(口頭)

11月3日

(金・祝)

11月4日

(土)

11月5日

(日)

一般演題(ポスター)

11月3日

(金・祝)

11月4日

(土)

11月5日

(日)

- 5-14-S64-3 医薬品の供給不足に直面する現状と薬局チームの対応力
 廣田 有紀
 株式会社九品寺ファーマ せいら調剤薬局
- 5-14-S64-4 医薬品の安定供給に係る行政の取組み
 浅野 智央
 厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課
- 5-14-S64-5 ジェネリック医薬品の信頼確保に向けた日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて
 川俣 知己
 日本ジェネリック製薬協会

市民公開講座

13:30 ~ 15:00

座長：三浦 昌朋 (秋田大学大学院医学系研究科薬物動態学講座)

人生100年時代の健康を考える：食事と運動の最新学術研究エビデンス

野村 恭子

秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座

11月5日 (日)

第15会場 (東北大学百周年記念会館 2F 会議室)

シンポジウム65

9:00 ~ 11:00

薬局で臨床研究を行うために必要な支援は？ - 企業と大学の研究支援のコツを学ぶ！ -

オーガナイザー・座長：岡田 浩 (和歌山県立医科大学薬学部)、天野 学 (株式会社アルティザン)

- 5-15-S65-1 進化する臨床研究：誰でもできる臨床研究への道

片岡 裕貴^{1,2}¹京都市民医連あすかい病院内科、²臨床研究・ピアサポートグループ (SRWS-PSG)

- 5-15-S65-2 薬局薬剤師の臨床研究実施における課題

天野 学

株式会社アルティザン

- 5-15-S65-3 薬局の立場から研究実施について感じること

角 佳亮

クラフト本社株式会社採用・研修部

- 5-15-S65-4 大学と薬局で実施する臨床研究

岡田 浩

和歌山県立医科大学薬学部

- 5-15-S65-5 保険薬局での学術活動 = 企業内での研究支援体制について =

長谷川 佳孝

株式会社アインホールディングス医療連携学術部

シンポジウム66

13:35 ~ 15:35

地域包括ケアにおける新たなチームビルディング～抗HIV薬を服用する方々とともに目指す12年のために～

オーガナイザー：阿部 憲介 (国立病院機構盛岡医療センター薬剤科)、國本 雄介 (札幌医科大学附属病院薬剤部)

座長：五十嵐 敏明 (東北大学病院薬剤部)、築地 茉莉子 (千葉大学医学部附属病院薬剤部)

- 5-15-S66-1 地域包括ケアシステムと薬剤師の関わり ～がん診療の経験から～

岡田 浩司

東北医科薬科大学病院薬剤部

- 5-15-S66-2 HIV診療チームにおける薬剤師の役割とこれからの服薬支援～病院薬剤師の立場から～

阿部 憲介

国立病院機構盛岡医療センター薬剤科

- 5-15-S66-3 HIV診療における保険薬局の役割と地域包括ケアへの展望

田橋 美佳

薬樹薬局三ツ沢

- 5-15-S66-4 コミュニティでの活動と薬剤師への期待～AIDS流行終結とステータスに関わらずその人らしく生きるために～

岩橋 恒太

特定非営利活動法人 akta

5-15-S66-5 HIV診療におけるチーム医療の実践-チームビルディングと共同意思決定-
田沼 順子
国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

11月5日 (日)

ワークショップ会場 (仙台国際センター 会議棟 1F 小会議室3)

ワークショップ

9:00 ~ 11:00

薬物療法専門薬剤師ワークショップ

「薬物療法専門薬剤師に必要な症例報告を書いてみよう！」

オーガナイザー・座長：関根 祐子 (千葉大学)

ファシリテーター：久保 和子 (岡山大学病院薬剤部)

片田 佳希 (京都大学医学部附属病院薬剤部)

細野 智美 (筑波大学附属病院薬剤部)

門村 将太 (JCHO 北海道病院薬剤部)

主要プログラム

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(口頭)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)

一般演題
(ポスター)

11月3日
(金・祝)

11月4日
(土)

11月5日
(日)